

## 第3章 基本目標と基本方針・取組の方向性

### 3-1 基本目標と基本方針

#### (1) 基本目標

都心のみどりの現状や、上位計画である第4次札幌市みどりの基本計画の施策の方向性6「都心のみどりの増加と価値の向上」を踏まえ、以下の2つの基本目標を定めます。

このことにより、みどり溢れ魅力的な空間で活力に満ちた都心の形成が図られ、都心全体としての良好な景観形成や都市環境の向上、人の回遊性や移動の利便性の向上、生活の質の向上、生物多様性の保全、防災性の向上などが期待されます。

なお、目標の達成度合いをはかる評価指標については第4次札幌市みどりの基本計画に準拠します。

**基本目標 1** 都心の魅力を高めるみどりの創出と活用

**基本目標 2** みどりのネットワークの形成

#### (2) 基本方針

基本目標の実現に向けて、現状や課題の整理を踏まえ、以下の3つの基本方針を設定します。

**基本方針 1** 公共インフラの整備・改修によるみどり豊かな空間の形成

**基本方針 2** 民間開発等との連携による魅力的なみどりの空間の創出

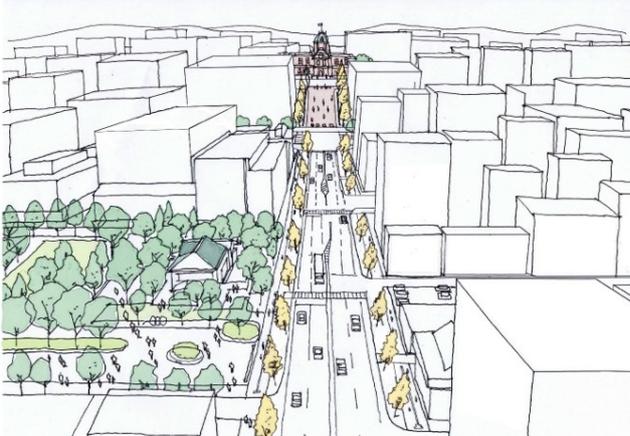
**基本方針 3** 市民・企業・行政の協働によるみどりづくりの推進

この3つの方針に取り組み、基本目標を実現することで、都心のみどりが増加するとともに価値が向上し、札幌の都市ブランド向上やSDGsへの貢献につなげていきます。

また、基本方針に基づいて取組を進めることで、札幌の都心部のまちのあり様は、次の将来像のようになっていくことを想定します。

これらを踏まえ、次項3-2では、具体的な取組について整理します。

## <都心の将来イメージ>



### ◆将来像①

都心のリニューアルが加速する中でも、遠景の山々をはじめとする自然と都心部の先進性が調和するとともに、周辺のまとまった緑地とのネットワークが構築され、札幌らしいみどりが活かされています。



### ◆将来像②

大通公園をはじめとするみどり豊かな空間は、魅力や機能が強化され、みどり豊かな街を象徴するとともに市民の誇りとしてあり続けています。



### ◆将来像③

都心の貴重なみどりの資源は、ウォークブルでみどり豊かな空間としてつながっており、それらをフィールドに様々な活動が行われています。



### ◆将来像④

再開発等により民間のオープンスペースが創出され、花や郷土種の樹木などにより彩られ都市の快適性を高めています。

## 3-2 取組の方向性

### (1) 基本方針1「公共インフラの整備・改修によるみどり豊かな空間の形成」

都心のうるおいあるみどりの空間は、公園や街路樹など公共的なみどりに支えられてきました。この既存のみどりの空間を最大限に活用し魅力の向上を図るとともに、施設更新の機会をとらえたみどりの強化や多くの人が使いたくなる空間の創出に取り組みます。

#### ① 公園、道路の整備・改修によるみどりの充実

公園や道路などの都市施設は、社会ニーズの変化などから、従来のあり方に加えて、国際競争力の強化や利便性・快適性の向上が求められます。こうした公園や道路の整備・改修にあわせて、みどりの創出・充実を行います。

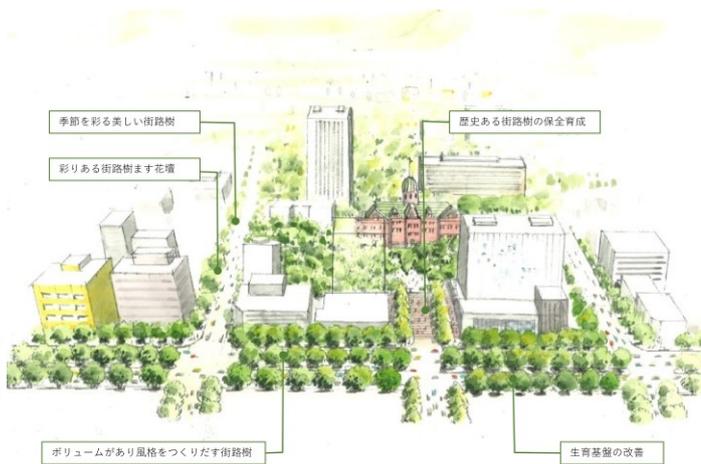
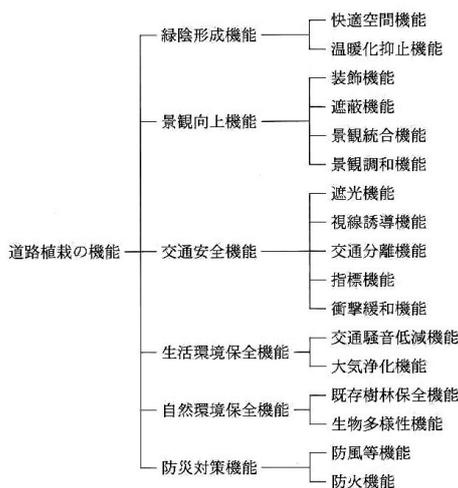
今後の  
取組内容の例

○公園整備事業、道路整備事業などによる緑地空間の充実

#### ② 道路空間におけるみどりの強化

街路樹の持つ緑陰形成や景観向上等の機能を活用しながら、風格があり、通りごとに特徴あるまちなみの形成を図るため、緑のボリュームが感じられる街路樹づくりに取り組むほか、道路整備などの機会をとらえた街路樹の更新を進めます。

また、多様な花苗を街路樹柵やコンテナに植栽することにより歩いて楽しい歩道美化を進めます。



出典：道路緑化技術基準

出典：札幌市街路樹基本方針

今後の  
取組内容の例

○街路樹のボリュームアップ、樹種更新  
○街路樹柵、コンテナなどによる歩道美化

## (2) 基本方針2「民間開発等との連携による魅力的なみどりの空間の創出」

都心においてみどり豊かで居心地のよい空間を整備するには、公共の緑化だけでは限界があり、民間事業者の理解や協力が重要となります。このことから、官民連携によるみどり豊かな空間を形成していくための仕組みづくり等に取り組みます。

### ① 民間開発等による敷地内のみどり・憩いの空間の充実

開発事業者に向け、緑化の具体例、維持管理手法、メリット等をガイドラインとして示すことで、質の高い緑化の誘導などを図るほか、既存制度である緑保全創出地域制度およびさっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度の効果を検証します。

また、市民が心地よく過ごせるオープンスペースやみどり豊かな施設整備のため、容積率緩和等を含めたインセンティブを検討します。

#### 今後の 取組内容の例

- （仮称）緑化ガイドラインの策定
- 現行の緑化義務制度および助成制度の効果検証
- みどり豊かな施設の整備（容積率緩和等のインセンティブの検討）
- グリーンインフラ施設の導入に向けた仕組みづくりの検討

### ② 官民連携による都市公園などの整備の推進

高度利用が求められる都心においては、まとまった用地の確保が難しいことから、民間再開発等の機会をとらえながら都市公園やみどりの空間の確保を目指します。

#### 今後の 取組内容の例

- みどり豊かな施設の整備（容積率緩和等のインセンティブの検討）

### (3) 基本方針3「市民・企業・行政の協働によるみどりづくりの推進」

公共・民間問わず、整備された緑地は良好に維持管理されていくことが重要です。市民・企業・行政が協力して花とみどりが豊かな都心のまちづくりを推進するため、みどりに関わる人材の育成や、ネットワークの構築に取り組みます。

#### ① 市民・企業による緑化活動への支援

既存のボランティア登録制度を活用し、花とみどりが豊かな都心のまちづくりを推進するため、講習会等を通じて緑化活動に必要な技能を習得した人材を育成するとともに、様々な活動の場とつながる仕組みづくりを検討します。

また、都心においてみどり溢れる街並み形成を一層推進するため、まちづくり会社など沿道事業者と連携した緑化活動を強化します。



市民・企業との協働による  
コンテナ花壇の設置（創世スクエア）

#### 今後の 取組内容の例

- ボランティアが活動に参加しやすい仕組みの検討
- まちづくり会社等と連携した緑化活動の強化

#### ② 協働によるみどりづくりに向けた普及啓発

これまで緑化活動の普及啓発のため、小中学生を対象とした絵画コンクールや緑化資材の支援などを実施してきました。今後も適切な見直しを図りつつ、多様な主体との協働によるみどりづくりに向け、効果的な普及啓発を検討します。

また、開発事業者に向けては、緑化手法など技術的な内容をガイドラインとして示すことにより、緑化に対する意識の醸成を図ります。



緑化資材の支援による  
緑化普及の取組（緑のカーテン）

#### 今後の 取組内容の例

- 効果的な普及啓発の検討
- （仮称）緑化ガイドラインの策定（再掲）

### 3-3 取組を支えるみどりづくりの考え方

#### (1) 札幌らしいみどりの特徴

都心に質の高いみどり豊かな空間を創出するためには、市民、事業者、行政など、みどりづくりに係る主体が共通認識を持って取り組むことが重要です。

そこで、多様な主体が札幌都心にふさわしい地域性を有する空間形成を図るため、「札幌らしいみどり」について、「景観・空間」、「植生・環境」、「利用・活動」の3つの視点から整理しました。

#### 景観・空間

##### 札幌らしいみどりの景観とまとまったみどり

札幌市では、北東部において農地や牧草地の広がりのある景観を、南西部では森林の景観を、都市でありながら見ることができます。都心においても、北5条・手稲通では三角山を、大通では大倉山といった山々の景観を借景にすることができます。

また、大通公園・中島公園・豊平川緑地等の大規模で特徴的な公園や、北海道大学等のまとまったみどりについても、札幌の都心らしい景観を形成しています。



##### 格子状の街路網による軸性の強調

札幌の道路の代名詞となっている格子状の街路網は、比較的平坦な地形と相まって、規則的で単調な印象を与えますが、街路における見通しのよさやわかりやすさ、軸性の強調等、特徴ある道路景観を形成しています。特に都心においては、大きくボリュームのある街路樹により、風格ある街並みが形成されるとともに、骨格軸の特徴や軸性の強調に寄与しています。



#### 植生・環境

##### 樹木による四季の彩り

札幌はかつて「エルム（＝ハルニシ）の街」と呼ばれ、大通公園、北海道大学、知事公館等に育つ雄大なエルムの姿は札幌を代表する景観となっています。

また、札幌の気候から本州とは異なる落葉広葉樹主体の植生となっており、春のさわやかな新緑、秋の紅葉、冬の雪景色など四季折々の楽しみのあるみどりの景観も札幌らしさを構成する要素となっています。



##### 芝生のたくましさの花の鮮やかさ

札幌の芝生は寒冷地型のケンタッキーブルーグラスを主体とした西洋芝を主に用いており、関東地方等で見られる温暖地型の芝生と比べ、踏圧に強く青々とした札幌らしい景観を作り出します。

また、冷涼な気候は花の発色を良くする効果もあり、街路樹ますやプランター、大通公園の花壇等では、ビビットなカラーの花が街を彩ります。



#### 利用・活動

##### 市民の憩いの空間とイベントの活用

大通公園や中島公園等の都心部の大規模な公園は地域住民や来街者に親しまれ、都心の貴重な憩いの空間として活用されています。

特に、大通公園では、雪まつりをはじめ四季を通して札幌を代表するイベントが通年で行われ、多くの市民や来街者が集まる機会を創出しています。



##### 協働での花のまちづくり活動

市民とは昭和52年から歩道美化事業として、街路樹ますに花苗を植えるなど、積雪地を踏まえた花による道路緑化の景観も、札幌のみどりの特徴となっています。

大通公園では、昭和27年に市内の花弁園芸業者がボランティアで花壇造成を行って以来、現在まで企業との協働による花壇整備に取り組んでいます。



## (2) みどりの機能の視点

みどりはさまざまな機能を発揮して都心の魅力向上に寄与しています。公園や広場のみどりの強化とともに、民有地部分の緑化等、官民連携によるみどりづくりに取り組むことで、都心の魅力が一層高まります。主なみどりの機能は以下の通りです。

機能  
みどりの

### 空間の個性を生み出します

みどりの効果的な配置により、エリアの特性を高めることで、空間の個性を生み出します。



歴史性をもつイチョウを活かした整備により風格のある景観を創出（北3条広場のイチョウ並木）

機能  
みどりの

### 文化・コミュニティ活動の場になります

質の高い緑化空間により、人と人との繋がりを生み出すことで、各種文化・コミュニティ活動の場になります。



市民参加型のパブリックアートとして、毎年初夏を彩る新たなイベントとして定着しているフラワーカーペット（北3条広場）

機能  
みどりの

### 交通安全機能を高めます

人の目線に立った緑化により、歩いて楽しい歩行空間等を生み出すほか、視線の誘導を図り、交通安全機能を高めます。



道路に面して街路樹やプランター等を配置することで、視線の誘導を図り歩いて楽しい快適な歩行空間を創出（大通ビッセ）

機能  
みどりの

### 居心地の良い空間になります

建物低層部のスペースと調和したみどりの空間により、滞留性を高めることで、居心地の良い空間になります。



オープンスペースに開かれたテラス空間

機能  
みどりの

### 自然とふれあう機会を生み出します

都心における貴重な水辺とみどり等を活かすことにより、生物多様性に配慮した空間を創出することで、自然とふれあう機会を生み出します。



都心における貴重な水辺とみどり等を活かし、みどり豊かで象徴的な親水空間や四季を通じたうるおいある空間を形成（創成川公園）

機能  
みどりの

### レクリエーションの場になります

みどりのある広い空間により、休養・散策・運動など様々な活動を受け入れ、レクリエーションの場になります。



多様な人が自由に過ごすことができる芝生広場（大通公園）

機能  
みどりの

### 安全性を高めます

みどりの空間を効果的に配置することにより、火防帯や災害時の避難場所等の防災機能を発揮し、安全性を高めます。



防火帯として整備され、現在は一時避難場所にも指定（大通公園）

機能  
みどりの

### 地域性を高めます

気候・風土を活かしたみどりの空間整備により、地域の特性を活かした景観等を生み出し、地域性を高めます。



樹木や建物に雪が積もり積雪寒冷地ならではの景色が創出されている（時計台）